

日本芸術文化振興会ニュース

国立劇場	国立演芸場	国立能楽堂	国立文楽劇場
伝統芸能情報館	国立劇場おきなわ	新国立劇場	芸術文化振興基金

2021
12
Dec.



今月の表紙

船中雪見図

天保1年（1830）
豊国画〔2代目歌川豊国〕
国立劇場蔵

目次 Contents

※日本芸術文化振興会ニュースの最新号の誌面は日本芸術文化振興会のホームページでもご覧いただけます。

日本芸術文化振興会ニュース

Japan Arts Council 2021.12

■ 国立劇場		■ 国立劇場おきなわ	
12月文楽公演.....	1	12月・令和4年1月主催公演.....	10
12月文楽鑑賞教室.....	2	■ 新国立劇場	
■ 伝統芸能情報館／展示・イベント情報		12月主催公演.....	11
伝統芸能情報館／国立劇場／		■ 12月公演カレンダー.....	12～15
文化デジタルライブラリー.....	3	■ 芸術文化振興基金	
■ 国立演芸場		文化芸術振興費補助金による助成事業.....	16
12月上席／12月中席／12月国立名人会.....	4	芸術文化振興基金による助成事業.....	17
12月花形演芸会／12月特別企画公演／		■ 研修便り.....	18
展示・イベント情報.....	5	■ インフォメーション.....	19
■ 国立能楽堂		■ お正月の国立劇場各館のご案内.....	20
12月主催公演.....	6		
展示・イベント情報.....	7		
■ 国立文楽劇場			
令和4年初春文楽公演.....	8		
令和4年1月上方演芸特選会／展示・イベント情報.....	9		

● 各館チケット購入方法 ●

国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場（大阪）

- ① インターネット
- ② 電話 ☎ 0570-07-9900/03-3230-3000（一部IP電話等）（10時～18時）
- ③ 窓口 各劇場チケット売場（10時～18時）

※学生・シルバー・障害者等、各種割引あり。詳しくはお問合せください。
※学生・シルバー料金は、電話・窓口で販売しております。※シルバー料金対象は65歳以上
※電話・窓口は年末年始・7月1日は休業です。

新国立劇場

- ① インターネット
- ② 電話（10時～18時*）
☎ 03-5352-9999
- ③ 窓口（10時～18時*）

※学生・障害者等、各種割引あり。
詳しくはお問合せください。
※年末年始の電話・窓口営業時間の詳細はウェブサイトをご覧ください。

国立劇場おきなわ

- ① インターネット
- ② 電話（10時～17時30分）
☎ 098-871-3350
- ③ 窓口（10時～18時）

※学生・障害者等、各種割引あり。
詳しくはお問合せください。
※電話・窓口は年末年始を除き、年中無休。

● 本誌掲載の公演・イベント等の実施について ●

本誌掲載の公演・イベント等につきましては、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、開催を中止・変更する場合がございます。
最新の情報は各ホームページ等でご確認をお願いいたします。

国立劇場

公演情報

主催 独立行政法人日本芸術文化振興会

〒102-8656 東京都千代田区集町4-1
電話 03-3265-7411 (代表)



12月文楽公演《小劇場》

国立劇場開場55周年記念

仮名手本忠臣蔵

桃井館本蔵松切の段
下馬先進物の段
殿中刃傷の段
塩谷判官切腹の段
城明渡しの段
道行旅路の嫁入



仮名手本忠臣蔵 塩谷判官切腹の段

12月4日(土)～17日(金)

字幕あり

イヤホンガイドあり

託児室あり

好評発売中

※9日(木)は休演

14時・17時開演/日程ごとの開演時間は右表の通り

※途中休憩を予定しています。

1等席6,500円・2等席5,500円

(学生料金[電話・窓口で販売] 1等席4,600円・2等席3,900円)

公演日程	12月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
14:00	—	—	—	—	—	—	休	—	—	—	—	—	—	—	—
17:00	—	—	—	—	—	—	演	—	—	—	—	—	—	—	—

※上演時間=約3時間(休憩を含む)

国立劇場託児室
(要予約・有料)

開室日
料金
ご予約・
お問合せ

歌舞伎・文楽公演期間中の月・水・土・日・祝日

※現在、受け入れ人数を制限しております。

(0～1歳) 2,200円/(2～12歳) 1,100円

イベント託児・マザーズ <http://www.mothers-inc.co.jp/>

☎ 0120-788-222 (平日 10～12時/13～17時)



12月文楽鑑賞教室《小劇場》

12月4日(土)～17日(金)

解説 文楽の魅力

しん ばん うた ざい もん

新版歌祭文

野崎村の段

なかなか文楽に触れる機会のなかった方や、文楽へ
お知り合いを誘うきっかけがなかった方へ。解説と名
作の舞台がセットになり、短い時間でお楽しみいた
けます。

※プログラム・鑑賞のしおり無料配布



新版歌祭文 野崎村の段



社会人のための文楽鑑賞教室《小劇場》

12月6日(月)・7日(火)

お勤め帰りにおすすめの夜公演です。

※解説・演目・出演者は12月文楽鑑賞教室と同一です。



Discover BUNRAKU
—外国人のための文楽鑑賞教室—《小劇場》

ご案内＝デビッド コンクリン

12月14日(火)

令和3年度日本博主催・共催型プロジェクト
主催＝独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

外国人の方にも気軽に楽しんでいただける人気企画。
分かりやすい英語の解説付きです。

※演目・出演者は12月文楽鑑賞教室と同一です。

※イヤホンガイド無料貸出(日本語・英語)

※6か国語のプログラム無料配布

※英語字幕あり



新版歌祭文 野崎村の段

12月4日(土)～17日(金)

※9日(木)は休演

11時・14時・18時開演／日程ごとの開演時間は右表の通り

※途中休憩を予定しています。

全席指定4,500円(学生料金[電話・窓口で販売]1,800円)

字幕あり

イヤホンガイドあり

託児室あり

好評発売中

公演日程	12月	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	9 木	10 金	11 土	12 日	13 月	14 火	15 水	16 木	17 金
11:00															
14:00															
18:00															

□文楽鑑賞教室 ◆社会人のための文楽鑑賞教室

★Discover BUNRAKU

※上演時間＝約2時間(休憩を含む)

【伝統芸能情報館】



展示
1階情報展示室
入場無料

●企画展示

「舞台の花鳥風月―装いの美―」

近世から現代まで日本で成り立ち、展開してきた芸能には、表象としての「花鳥風月」が採り入れられ、舞台を彩ってきました。自然の風景を描く舞台装置、四季の花々をあしらった衣裳、鳥や蝶など自然界の生き物を表現した小道具、そして、舞台の装いにそれらの美を採り入れる役者の姿に、「花鳥風月」の精神性が見いだされます。本展では、文献や錦絵、楽屋の模様、衣裳や髪、装身具、舞台写真等を通して、舞台の花鳥風月の世界を紹介します。



【会期】開催中(令和4年1月27日(木))
【開室時間】10時～18時
【12月休業日】29日(水)～31日(金)
【入場制限】25名以内 ※展示室内の混雑緩和のため

●図書閲覧室 (2階)

歌舞伎・文楽・演芸などの芸能関連図書や、国立劇場・国立演芸場の公演関連図書が閲覧できます。

【閲覧希望日】前日までに要予約 / 入場制限…上限10名

○開室時間…平日の11時～16時

○休室日…土・日・祝日・月末整理日・年末年始(12月29日～1月3日)

○予約・問合せ先…☎03-3265-6300(直)
【開室日】11時～16時

【国立劇場】

視聴室 (3階)

国立劇場・国立演芸場の主催公演のうち、記録映像・録音があるものを視聴できます。

【視聴希望日】前日までに要予約 / 視聴料30分ごとに110円 / 入場制限…上限3名

○開室時間…平日の11時～16時

○休室日…土・日・祝日・月末整理日・年末年始(12月29日～1月3日)

○予約・問合せ先…☎03-3265-6479(直)
【開室日】11時～16時

【文化デジタルライブラリー】

<https://www2.ntj.ac.go.jp/dlib/>

伝統芸能を調べる・見る・学ぶためのウェブサイトです。

○調べる…国立劇場、国立演芸場、国立能楽堂、国立文楽劇場の過去の自主公演について調べることができます。

○見る…錦絵やブロードなど、伝統芸能に関する資料を見ることができます。

○学ぶ…舞台芸術の魅力をわかりやすく紹介するコンテンツで学ぶことができます。

特別展のお知らせ

ユネスコ無形文化遺産
特別展「体感！日本の伝統芸能
―歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊の世界―」

ユネスコ無形文化遺産に登録された5つの日本の伝統芸能―歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊―。本展は、これら5つの芸能を明治末期の洋風建築として重要文化財に指定されている東京国立博物館・表慶館という空間で「体感」できる、史上初の展覧会です。それぞれの芸能が持つ固有の美を、それを支える「わざ」とともにご紹介いたします。魅力ある伝統芸能の世界をぜひお楽しみください。

【会期】令和4年1月7日(金)～3月13日(日)

【会場】東京国立博物館 表慶館

【開館時間】9時30分～17時

【観覧料】一般1,500円 / 大学生1,000円 / 高校生600円

※中学生以下無料

【休館日】月曜日、1月11日(火)

※ただし、1月10日(月・祝)は開館

【主催】文化庁、日本芸術文化振興会、東京国立博物館、読売新聞社

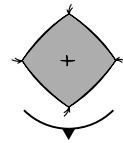
【問合せ】☎050-5541-8600 (ハローダイヤル)

国立演芸場

公演情報

主催 独立行政法人日本芸術文化振興会

〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1
電話 03-3265-7411 (代表)



12月公演《好評発売中》

上席 12月1日(水)～10日(金)
13時開演(15時30分終演予定)

落語
(日替)

桂 小右治(3・6・7日)
春風亭 昇 咲(1・4・10日)
春風亭 昇 輔(2・5・8・9日)

落語

三笑亭 可 龍

相撲漫談

一 矢

落語

桂 小文治

— 仲入り —

落語

桂 歌 助

俗 曲

桧 山 うめ吉

落 語

桂 歌 春

全席指定2,000円
(学生1,400円/小学生1,000円/シルバー1,400円)

中席 12月11日(土)～20日(月)
13時開演(15時30分終演予定)

落 語

林 家 扇

落 語

柳 家 小団治

粹 曲

柳 家 小 菊

落 語

柳 家 小満ん

— 仲入り —

落 語

春風亭 ぴっかり☆

ギター漫談

ペ ペ 桜 井

落 語

春風亭 小 朝(12・13日は休演)

全席指定2,000円
(学生1,400円/小学生1,000円/シルバー1,400円)

第454回 国立名人会
12月4日(土) 17時30分開演(20時終演予定)

落 語

「扇の的」

林 家 たけ平

落 語

「花筏」

三遊亭 兼 好

落 語

「井戸の茶碗」

柳 家 花 緑

— 仲入り —

浮世節

立花家 橘之助

落 語

「試し酒」

入船亭 扇 遊

全席指定3,100円(学生2,200円)

第513回 花形演芸会

12月18日 (土) 17時30分開演 (20時終演予定)

落語 「愀気の独楽」 春風亭 昇羊

落語 「唾の釣」 柳家 崑三郎

落語 「阿武松」 鈴々舎 馬るこ

― 仲入り ―

漫才 〈ゲスト〉 爆笑 問題

曲芸 鏡味 仙成

上方落語 「胴乱の幸助」 桂 雀太

全席指定1,800円

(学生1,200円・シルバー1,500円)

特別企画公演

年の瀬に新作を聴く会

12月23日 (木) 13時開演 (15時30分終演予定)

落語 三遊亭 白鳥

落語 柳家 喬太郎

― 仲入り ―

落語 林家 彦いち

落語 柳家 小ゑん

全席指定3,300円 (学生2,300円)

展示・イベント情報



展示

1階演芸資料展示室

入場無料

演芸資料展

「講談展―国立劇場所蔵資料に見る」

国立劇場では、幕末から明治の錦絵や見立番付、明治・大正の速記本や講談雑誌、戦前のSPレコード、台本類をはじめとした四代目小井井州、五代目宝井馬琴ら往年の講釈師の旧蔵資料、最後の講談定席として昭和の講談界を支えた本牧亭ゆかりの講釈師関連の資料など、数多くの講談関係資料を所蔵しています。今回の展示では、所蔵資料を通して講談の流れと広がり、時代を追って紹介します。



実録本「赤穂精義参考内侍所」
明治15年 (1882)

【会期】12月1日(水)～令和4年3月21日(月・祝)

【開室時間】10時～17時

【12月休室日】21日(火)、22日(水)、24日(金)～31日(金)

※公演の都合により休室日が変更になる場合があります。

【入場制限】8名以内 ※展示室内の混雑緩和のため

※番組・出演者の変更の際はご了承ください。

国立能楽堂

公演情報

主催 独立行政法人日本芸術文化振興会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1
電話 03-3423-1331 (代表)



12月公演《好評発売中》

定例公演 12月1日(水) 13時

(15時30分終演予定)

能 (和泉流)

樽 智

高野 和憲

能 (親世流)

代 主

井上 裕久

みどころ

「樽智」 舅宅へ智入りに訪れた智と、酒樽を持った供の男を、太郎冠者が取り違えて…。智入りを描いた狂言の中でもとりわけ上演の稀な作品です。

「代主」 大和・葛城山を参詣した都・賀茂明神の神職の前に事代主神が現れ、颯爽と舞を舞い泰平の世を寿ぎます。稀曲としても知られ、国立能楽堂では初めての上演です。

普及公演 12月11日(土) 13時

(15時30分終演予定)

解説・能楽あんない

熊野の神々と狂い

林 望

狂言 (大蔵流)

伯母ケ酒

大蔵 彌太郎

能 (宝生流)

巻 絹

佐野 由於

みどころ

「伯母ケ酒」 酒屋を営む伯母はけちで甥にさえ酒を飲ませてくれません。甥は鬼になりすまし酒を脅し取ろうとしますが…。

「巻絹」 熊野権現へ巻絹を献上する途中、男は音無天神の梅に心奪われ、和歌を一首詠んでいたために遅参するのですが…。和歌の徳を讃える美しい曲です。

定例公演 12月17日(金) 17時30分

(20時終演予定)

※開演時間を18時30分から17時30分に変更いたしました。

◎演出の様々な形

同一作品を違った演出でお楽しみいただくシリーズを、11月に引き続きお届けします。

狂言 (和泉流)

成 上り

能村 晶人

能 (金剛流)

海 人

廣田 幸稔

変成男子

みどころ

「成上り」 主人の太刀を持ったまま太郎冠者はつい居眠り。その間にすっぱが太刀と青竹をすり替えます。目が覚めた太郎冠者は…。流儀により結末が異なります。

「海人」 藤原不比等との間になった我が子のため、海人は自らの命をかけ龍神に奪われた宝珠を奪還します。小書「変成男子」により、後シ

テが男体の龍王の姿で現れるなどの変化が生じます。

企画公演 12月23日(木) 13時

(15時15分終演予定)

◎狂言と落語・講談

―特集・在原業平―

同一のテーマを扱った狂言と落語・講談を上演するシリーズ。今回は平安時代の歌人・在原業平に因んだ作品を特集します。

講談

貧乏業平

旭堂 南左衛門

落語

千早振る

三遊亭 小遊三

素囃子

男 舞

狂言 (大蔵流)

業平餅

山本 泰太郎

みどころ

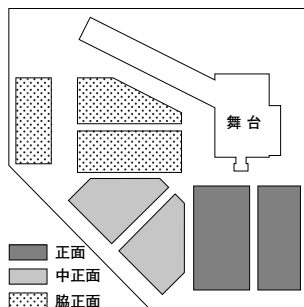
「貧乏業平」 豪商・紀伊國屋文左衛門が、美男ながらも貧乏なため「貧乏業平」とあだ名されていた若き日の頃の物語です。

「千早振る」 在原業平の歌の意味がわからない男は、物知りの隠居に歌の意味を尋ねますが…。
「業平餅」 色好みの貴公子・在原業平が大勢の家来を連れ餅屋に立ち寄りますが、お金を持っておらず支払うことができません。空腹に窮した業平は…。

※全席に字幕システム有。日本語・英語選択可。

《入場料金》※ () 内は学生料金

	正面	脇正面	中正面
定例公演・普及公演	5,000円	3,300円 (2,300円)	3,000円 (2,100円)
企画公演	5,200円	4,200円 (2,900円)	3,400円 (2,400円)



展示・イベント情報



展示

1階資料展示室

入場無料

◎企画展
小道具から見る能

小道具は、役の立場・身分を表すだけでなく、演出上で重要な意味を持つことも多くあります。各流による形状の違いもあり、また流儀特有のものもあります。小道具の実物や公演記録写真ははじめ、絵画資料や装束付等の文献もあわせて展示します。



イベント

2階大講義室

受講有料 事前申込制

◎国立能楽堂公開講座
令和4年1月27日(木) 14時

国立能楽堂・東京能楽囃子科協議会共催

第3回能楽囃子講座―シテ・ワキの登場―

《講師》高桑いづみ氏(東京文化財研究所名誉研究員)
◎東京能楽囃子科協議会所属能楽師による実演あり

【募集】70名 ※抽選による座席指定(※大講義室内の混雑緩和のため)応募多数の場合抽選

【応募締切】令和4年1月6日(木) 必着

【受講料】500円(当日、現金にてお支払い頂きます)

【応募方法】1講座につき、1名様1枚の往復はがきでお

図書閲覧室(地下1階)

能楽関連図書や国立能楽堂公演記録資料の閲覧・視聴(予約制)
◎開室時間:11時~16時(開室日は開室日カレンダー参照)
◎図書閲覧(無料)・公演記録視聴(有料)のご予約
☎03-3423-1145(直)
【入場制限】14名以内(視聴ブース4名・図書閲覧10名)
※閲覧室内の混雑緩和のため
※視聴ブースは1ブース1名利用とします。
※日程や時間、入場制限等、変更となる可能性があります。
詳しくは、国立能楽堂調査資料係にお問合せください。

2021年12月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
				★		
5	6	7	8	9	10	11
		★		★		
12	13	14	15	16	17	18
		★		★		
19	20	21	22	23	24	25
		★		★		
26	27	28	29	30	31	

□ 開室日(開室時間:11:00~16:00)

★ 写真資料利用受付日

申し込みください。※重複申込無効
往信に①郵便番号②住所③氏名④連絡先電話番号⑤講座の日付⑥講座タイトル、返信に住所・氏名を明記の上、左記の宛先にお送り下さい。
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷4-18-1
国立能楽堂「特別講座」係
※お寄せいただいた個人情報、今回の募集以外の目的では使用いたしません。
※結果は返信はがきにてお知らせいたします。
※日程や時間等、変更となる可能性があります。詳しくは、国立能楽堂調査資料係にお問い合わせください。
※往復はがきの料金は現在126円(往信63円+返信63円)です。郵便料金にご注意ください。
【問合せ先】国立能楽堂調査資料係
☎03-3423-1133(代) [平日10時~17時]



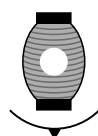
菅原伝授手習鑑 寺子屋の段



絵本太功記 尼ヶ崎の段



染模様妹背門松 質店の段



令和4年初春文楽公演《文楽劇場》

文楽座命名一五〇年

【第一部】

壽式三番叟
こぶきしきさんばそう

菅原伝授手習鑑
すがわらでんじゆてならいかみ

寺入りの段
寺子屋の段

【第二部】

絵本太功記
えほんたいこうき

二条城配膳の段
夕顔棚の段
尼ヶ崎の段

【第三部】

染模様妹背門松
そめよういもせのかどまつ

生玉の段
質店の段
蔵前の段
辰駕色相肩
もどりかごいろにあいかた
廓嘶の段

国立文楽劇場

公演情報

主催 独立行政法人日本芸術文化振興会

〒542-0073 大阪市中央区日本橋1-12-10
電話 06-6212-2531 (代表)

※「日本博」参画プロジェクト

1月3日(月)～1月26日(水)

字幕あり

イヤホンガイドあり

※1月14日(金)は休演

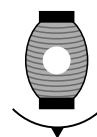
第一部=11時開演(13時30分終演予定) 第二部=14時15分開演(16時40分終演予定) 第三部=17時30分開演(19時55分終演予定)

※途中休憩を予定しています。

1等席5,500円・2等席3,500円(学生料金[窓口・電話で販売]) 1等席3,900円・2等席3,500円)

●一般販売=12月10日(金)10時 ●窓口販売開始=12月11日(土) ※窓口販売用に別枠でのお取り扱い置きはございません。

※12月は国立文楽劇場の主催公演はございません。



令和4年1月大衆芸能公演
《小ホール》

第117回 上方演芸特選会

浪曲	漫才	曲独楽	落語	漫談	浪曲	落語
京山幸枝若	立山オーパー	帰天斎正紅	桂宗助改メ 八十八	ナオユキ	天中軒すみれ	露の瑞 (19日・21日)
						林家愛染 (20日・22日)

《仲入》

1月19日(水)～1月22日(土)

13時開演(15時40分終演予定)

全席指定2,200円(学生料金1,500円・シルバー料金(満65歳以上)1,600円[電話・窓口で販売])

●一般販売＝12月18日(土)10時 ●窓口販売開始＝12月19日(日) ※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

2021年12月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8 設備点検	9 設備点検	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28 整理日	29	30	31	

□ 開室日(開室時間:11:00～16:00) ※要予約

※日程や時間等、変更となる可能性があります。
※入場制限がございます。

図書閲覧室(3階)
☎06-6212-2531(代)

文楽関係図書／国立文楽劇場公演記録資料(文楽)
◎平日・11時～16時 ※図書・視聴ともに要予約
◎休日・土曜日・日曜日・祝日・年末年始・月末整理日

【会期】令和4年1月3日(月)～2月27日(日)
【開室時間】10時～18時

◎常設展示
「文楽入門」
太夫・三味線・人形など文楽の基本的な内容と、文楽座150年にちなんだ資料をご紹介します。



展示

1階資料展示室

入場無料

展示・イベント情報



配信

文楽プレミアムシアター ～珠玉の舞台がオンラインで蘇る！～

国立文楽劇場で上演された名演の数々を、おうちでお楽しみください。

第三回

演 目 「艶容女舞衣」酒屋の段(昭和62年1月 国立文楽劇場)

配信期間 12月1日(水)11時～12月7日(火)23時59分
(再配信:12月15日(水)11時～12月21日(火)23時59分)

※再配信も別途チケットが必要です。

※視聴チケットの販売期間はいずれも配信終了の1日前までです。ご注意ください。

出 演 竹本越路太夫(四代)、鶴澤清治、吉田玉男(初代)、吉田簀助(三代) 他

販売価格 2,500円(税込)

販売サイト イープラス「Streaming+」(ストリーミングプラス)

※詳細はホームページをご確認ください。



※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、公演中止や資料展示室等を休室することがございます。
各種情報につきましては、随時、国立劇場おきなわのホームページに掲載いたします。

◇ 12月主催公演のご案内 ◇

▶第11回 若手伝承者公演

国立劇場おきなわの組踊研修で学んだ修了生による、若手伝承者公演（既成者研修発表会）を行います。

【日程】12月4日（土）14時開演 宇

【会場】国立劇場おきなわ大劇場

【演目】琉球舞踊「作田」「浜千鳥」「久志の若按司道行口説」組踊「奇縁の巻」

【料金】一般2,000円・学生以下1,000円 他各種割引あり



第116回企画公演 ゆらていく遊ば

琉球芸能の俳優祭、国立劇場おきなわのファン感謝デーとして、重鎮から若手までがジャンルを超え、一堂に会し、バラエティーに富んだ内容をお届けします。今回は、昨年に引き続き新作喜劇「うるま西遊記」（作・嘉数道彦）の第二弾を上演します。お馴染みの「西遊記」をもとに、組踊や沖縄芝居をはじめとした琉球芸能の様々な要素を盛り込んだ構成のもと、立方・地謡ともに普段と異なる役どころを務めたり、バラエティーに富んだ内容でお祭り公演としてお楽しみいただきます。

【日程】12月18日（土）・19日（日）14時開演 宇

【会場】国立劇場おきなわ大劇場

【料金】3,500円



※チケットのお求めは、国立劇場おきなわHPから「Webチケット販売サービス」をご利用ください。

◇ 令和4年1月講座のご案内 ◇

▶公演記録鑑賞と講座「能『竹雪』を知る」

【日程】令和4年1月12日（水）18時30分開演

【会場】国立劇場おきなわ小劇場

宇 字幕（標準語訳を表示）

レファレンスルームのご案内

【開室日時】火・水・木・第2・第4土曜日 10時～12時・13時～17時

【休室日】月・金・日・第1・3・5土曜日・祝日・慰霊の日（6月23日）年末年始（12月28日～1月3日）

【閲覧資料】①芸能関係図書・雑誌・新聞等 ②国立劇場おきなわ自主公演記録映像
（※視聴は有料30分ごとに50円）

資料展示室便り

令和3年度第3回企画展「御冠船踊の彩々」

【展示期間】開催中～12月12日（日）

【開室時間】10時～18時（入場無料）（夜公演の際は、閉館まで開室）

【展示内容】琉球王国時代、中国から訪れる冊封使を「ウトウイムチ（お取り持ち）」するため、御冠船踊が披露されました。御冠船踊とは舞台芸能だけでなく、武芸、花火なども含めた総称であったと考えられます。今回の展示では入子躍、唐棒、獅子舞、からくり花火などに注目し、御冠船踊の多彩な演目について紹介します。

令和3年度第4回企画展「琉球国 雪のものがたり」

【展示期間】令和4年1月8日（土）～3月20日（日）

【開室時間】10時～18時（入場無料）（夜公演の際は、閉館まで開室）

◇ 12月主催公演のご案内 ◇

オペラ

《オペラパレス》

ジャコモ・プッチーニ作曲

蝶々夫人

【指揮】下野竜也 【演出】栗山民也

明治時代の長崎を舞台とし、名アリア「ある晴れた日に」など豊かなメロディで彩られる『蝶々夫人』は、世界中で観客の涙を誘っている人気作です。オペラ研修所から世界へ羽ばたいたソプラノ中村恵理の、待望の蝶々夫人役での登場にご期待ください。



撮影：寺司正彦

【日程】12月5日(日)14時・7日(火)19時・10日(金)14時・12日(日)14時

【料金(税込)】S席22,000円/A席16,500円/B席11,000円/C席6,600円/D席3,300円/
Z席1,650円 (当日のみ)

バレエ

《オペラパレス》

くるみ割り人形

【振付】ウエイン・イーグリング

【音楽】ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

2017年に初演された本作は、主役のほかにも群舞やディヴェルティスマンなど見どころが多く、充実したダンサー陣容を誇る新国立劇場バレエ団ならではの『くるみ割り人形』です。華麗でスピーディーな振付、上品で華やかな美術によって古典名作の新境地を開いた人気演目を、お楽しみください。



撮影：瀬戸秀美

【日程】12月18日(土)13時/18時・19日(日)14時・21日(火)14時・24日(金)19時・25日(土)13時/18時・26日(日)14時・31日(金)16時・令和4年 1月1日(土・祝)14時・2日(日)14時・3日(月)14時

【料金(税込)】S席13,200円/A席11,000円/B席7,700円/C席4,400円/D席3,300円/
Z席1,650円 (当日のみ)

演 劇

《小劇場》

あーぶくたった、にいたった

【作】別役 実 【演出】西沢栄治

一年間かけて試演を重ね、作品の理解を深めて方向性を見極めた「こつつプロジェクト」第一期から一作をお届けします。「小市民」の有り様を見つめ捉えなおすことで生活者レベルの日本人論にたどり着きたいとの思いで取り組んだ演出家・西沢栄治が、別役戯曲を鮮やかに立体化し、令和の時代にその魅力を伝えます。



【日程】12月7日(火)～19日(日)

【料金(税込)】S席6,600円/A席3,300円/Z席1,650円 (当日のみ)

掲載されている情報は11月16日付のものです。ご来場にご一緒のお客様へのお願い、新国立劇場における感染予防への取り組みについて、また、公演日程及びチケットの販売について、最新の情報は新国立劇場ウェブサイトをご覧ください。

国立能楽堂

大阪 国立文楽劇場

12月		能楽堂	文楽劇場	文楽劇場小ホール
1	水	定例公演		
2	木			
3	金		とどけ明日へ 未来へつなぐ日本舞踊公演	日本舞踊協会 03-3533-6455
4	土	第十回佐間二郎能の会 [三曜会] 三曜会 042-316-4860	花柳禮次郎の会	花柳禮次郎 0797-87-1993
5	日	金春円満井会特別公演 金春円満井会 03-6913-6714	なにわの彩	関西アクティング協会 06-6674-1000
6	月			
7	火	和泉姉妹の会 和泉流宗家 090-3432-2856		
8	水			
9	木			
10	金			
11	土	普及公演		
12	日			
13	月			
14	火	琉球舞踊 志田房子の会 志田房子の会 070-8478-5123		
15	水			
16	木			
17	金	定例公演		
18	土			
19	日			
20	月			
21	火	第33回久習會 久習會 03-3800-4606		
22	水			
23	木	企画公演		
24	金			
25	土	第9回天籟能の会 天籟能の会 080-5520-1133		
26	日	みやざきの神楽 国立能楽堂公演 みやざきの神楽国立能楽堂公演事務局 0985-22-1122		
27	月			
28	火			
29	水			
30	木			
31	金			

国立劇場

国立演芸場

12月		大劇場	小劇場	演芸場		
1	水		社会人のための 文楽鑑賞教室 文楽鑑賞教室 4日(土)～17日(金) ※9日は休演 解説 文楽の魅力 新版歌祭文 野崎村の段 Discover BUNRAKU 文楽公演 4日(土)～17日(金) ※9日は休演 仮名手本忠臣蔵	お座敷白酒 ネイティブランパーン 国立名人会 立川談笑独演会 夢空間 0570-06-6600 上席 1日(水)～10日(金) 《断小屋》一天四海 いがぐみ ～龍志・扇遊・健昇・ 正蔵の会～ 熱蔵の刻 03-6909-4101 年忘れ 柳亭市馬事務所オフィスエムズ 一朝一門会 03-6277-7403		
2	木			三遊亭遊馬 三遊亭遊馬 独演会 090-6542-1647 第23回 栗好みの会 オフィス栗好み 栗村智 「若手真打競演会」 080-6813-4081 中席 11日(土)～20日(月) わん丈ストリート 柳亭市馬事務所オフィスエムズ VOL.30 03-6277-7403		
3	金				花形演芸会 桂雀々独演会 ときめきチケットセンター ～師走の笑いダ落語会～ 03-6300-6510	
4	土					特別企画公演
5	日					
6	月					
7	火					
8	水					
9	木					
10	金					
11	土					
12	日					
13	月					
14	火					
15	水					
16	木					
17	金					
18	土					
19	日					
20	月					
21	火					
22	水					
23	木					
24	金					
25	土					
26	日					
27	月					
28	火					
29	水					
30	木					
31	金					
			第17回 千早会 藤間千春 090-4544-4059 市馬落語集 柳亭市馬事務所オフィスエムズ ～年忘れ公演～ 03-6277-7403 第二十四回 紅の会 花柳真理子 03-3658-0940 第一回 寿柳流寿会 青山 03-6264-9729			

国立劇場おきなわの主催公演
に関するお問合せ先

国立劇場おきなわチケットカウンター
☎ 098-871-3350

国立劇場おきなわ

太字 は国立劇場おきなわの主催公演

12月		国立劇場おきなわ大劇場	国立劇場おきなわ小劇場
1	水		かりゆし芸能公演 琉球歌劇保存会 西村 明瞭時代歌劇「渡地物語」 080-6493-8828
2	木		
3	金		
4	土	若手伝承者公演	
5	日		
6	月		
7	火		
8	水		
9	木		
10	金		
11	土		
12	日		
13	月		
14	火		
15	水		
16	木		
17	金	かりゆし芸能公演 浦添市文化協会 照屋 古典芸能琉球舞踏協会「結」 090-8294-0552	
18	土	企画公演	かりゆし芸能公演 玉城流 上原 金城清一組 組踊「執心鐘入」 080-1713-0963
19	日		
20	月		
21	火		五月九月 (ぐんぐあち くんぐあち) シアター・クリエイト 090-3074-8295
22	水		
23	木		
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		
28	火		
29	水		
30	木		
31	金		

国立劇場
東京都千代田区



国立演芸場
東京都千代田区



伝統芸能情報館
東京都千代田区



国立能楽堂
東京都渋谷区



国立文楽劇場
大阪府大阪市中央区



国立劇場おきなわ
沖縄県浦添市



新国立劇場
東京都渋谷区

12月公演カレンダー

国立劇場主催公演に関する
お問合せ先

国立劇場ボックスオフィス
☎ 03-5352-9999

国立劇場

太字 は国立劇場の主催公演

12月		オペラパレス		中劇場	小劇場	
1	水	オペラ公演 「ニュルンベルクのマイスタージンガー」 11月18日(木)～12月1日(水)				
2	木					
3	金					
4	土					
5	日					
6	月	休演	オペラ公演 「蝶々夫人」 5日(日)～12日(日)			
7	火					
8	水	休演				
9	木	休演				
10	金					
11	土	休演				
12	日		川井郁子 音楽舞台&コンサート 「月に抱かれた日・序章」 サンライズプロモーション東京 0570-00-3337	演劇公演 「あーぶくたった、にいたった」 7日(火)～19日(日)		
13	月				休演	
14	火					
15	水					
16	木					
17	金					
18	土				「アニーククリスマスコンサート」 キョードー東京 0570-550-799	
19	日					
20	月					
21	火			「全国劇場・音楽堂等職員 舞台技術研修会」 全国公立文化施設協会 03-5565-3030		
22	水					休演
23	木	休演	バレエ公演 「くるみ割り人形」 12月18日(土)～2022年1月3日(月)			
24	金					
25	土					
26	日					
27	月	休演				
28	火	休演				
29	水	休演				
30	木	休演				
31	金					30-DELUX NAGOYA アクションクラブ MIX 「ナナシ2021」 ジェイズプロデュース info@30-delux.net

振興会で実施している2つの助成事業により支援した活動をご紹介します

文化芸術振興費補助金による助成事業

文化庁からの補助金により、芸術の水準向上に直接的な牽引力となる舞台芸術の創造活動や国際的な実演芸術の公演活動、劇場・音楽堂等が主体となっていく実演芸術の創造発信、優れた日本映画の製作活動等に対して助成しています。

くじらびと

【分野：映画製作への支援／記録映画 A】

Bonfilm合同会社

【活動概要】

インドネシア、レンバタ島では、今なお鉈一本で鯨を突く伝統的生存捕鯨が行われている。貧しい村では鯨を獲らなければ2,000人の村人が生きていけない。命がけで鯨漁をする男たちと、彼らを支える家族の姿を通して、現代社会で忘れられようとしている家族やコミュニティの絆、大自然と共にある生き方の素晴らしさを、現代日本、そして広く世界へ伝えることを目指した。本作の監督であり、撮影者の石川梵は、写真家として30年にわたりこの村を取材し、本や写真集を出版。関西テレビ『捕鯨に挑む』（1997年）では共同演出を担当し、ATPドキュメンタリー賞を受賞している。いつ消えるかもしれない貴重な生存捕鯨を映像記録として残したいという強い意志のもと、3年に及ぶ密着取材により、大自然と生きる人々の美しさと厳しさ、生き物を食べることの厳粛さと感謝を伝えるドキュメンタリーとなった。撮影は2017年4月～2019年10月、初号試写は2020年3月31日。2021年2月～3月に劇場公開予定。上映時間113分。

【助成を受けて】

内容の充実を期し、小資本のドキュメンタリー作品としては異例の3年間にわたる海外取材を敢行したため、商業ベースに乗らず、制作会社の負担は莫大なものとなっていました。監督自身のギャラ未払いによる撮影や、友人知人の献身的協力と応援者（クラウドファンディング）によって製作していましたが、映画を満足のいく形で完成させるために助成を申請しました。

ドキュメンタリーは長期取材をすればするほど、深いものができます。特に今回の題材は、いつ出現するかかわからない鯨が相手。結局、狙っていた鯨漁に遭遇するのは3年目の取材最終日前日、しかも追い続けていた主人公が鯨を捕るという、奇跡のような展開でした。編集では特に音響にこだわり、鯨漁のシーンでは音楽をほとんど使わなかったため、リアリティを高めるために音響には大きな予算をかけました。助成によって、こうした音響効果や音楽などポストプロ（撮影後の編集・仕上げ作業）を充実させることができ、映画の完成度が非常に高くなりました。助成がなければ、迫力のある鯨漁シーンの印象も全く違ったものになったはずですし、長期の編集も実現できませんでした。これらのレベルアップによって、映画は世界水準になったと思います。

この映画ではグローバリズムに翻弄されながら伝統を守ろうとする地元の人たちの姿も捉えることができ、日本のみならず海外でも大きく展開できると考えています。経済至上主義の現代において、失われかけている文化や、忘れかけている大事なこと、家族やコミュニティの絆をテーマに、これからも制作を続けていくつもりです。



▲鯨の急所をめがけ、鉈を打ち込む 撮影：石川梵

（「平成31・令和元年度芸術文化振興基金・文化芸術振興費補助金助成事業事例集」より抜粋）

■日本芸術文化振興会の助成事業の事例紹介

芸術文化振興基金による助成事業

芸術文化振興基金の運用益により、芸術団体等の行う文化の振興又は普及を図るための活動に対して助成しています。

第12回長崎定期演奏会、第27回大村定期演奏会

〔分野：舞台芸術・美術等の創造普及活動 現代舞台芸術創造普及活動 音楽〕

認定特定非営利活動法人 長崎OMURA室内合奏団

【活動概要】

長崎県内唯一のプロオーケストラとして活動する長崎OMURA室内合奏団は、長崎県央に位置するシーハットおおむら（さくらホール）を拠点に、県内在住及び出身演奏家等を中心に結成。ホールでのコンサートの他、大村市内の公民館や寺院など各所で月に一度、「まちかどコンサート」を開催。また、「スクールコンサート」や「弦楽セミナー」などの青少年育成事業にも精力的に取り組んでいる。“指揮者を持たない室内オーケストラ”のアイデンティティのもと、“プログラムの年間シリーズ化”と“世界初演”の活動によって長崎県民のクラシック音楽への興味を深め、さらなるファンを獲得してきた。これまで定期演奏会を、本拠地大村市で2回、長崎市で1回の年間3回行っていたが、今年は長崎市での演奏会を1回増やし、年間4回の開催を実現。長崎県民への文化芸術の普及・発展を図るべく、より充実した質の高い活動を提供するよう努めている。

【助成を受けて】

助成を受けた「第12回長崎定期演奏会、第27回大村定期演奏会」では、世界的ヴァイオリニスト・堀米ゆず子氏を招へいし、一流音楽家と長崎OMURA室内合奏団の共演を長崎の皆様にお聴きいただくことが出来ました。知名度の高いソリストとの共演は、クラシックファンのより一層の関心を集めるとともに、当団の演奏家たちのモチベーションを引き上げ、音楽性の向上にもつながったと実感しています。活動テーマの“プログラムの年間シリーズ化”については、5月公演でモーツァルト交響曲第40番、12月公演で第41番と連続性を持たせ、“世界初演”については、アーティストック・アドバイザーである松原勝也（東京藝術大学教授）が当団のために編曲したバッハのオルガン曲を発表しました。

首都圏と比べると楽団数や公演数が少ない地方自治体においても、一流の音楽家の生演奏、上質の音楽に触れる機会を提供し、県民のクラシック音楽への興味を深め、地域の文化芸術の発展に寄与すべく活動しています。より多くのお客様に定期演奏会にご来場いただくために、クラシック初心者の方のご来場のきっかけとなるよう、演奏会のプログラムに合わせて、作曲家やソリストについて、曲の聴きどころなどをご紹介します「クラシック音楽入門講座」を事前に開講する工夫も行っています。“指揮者を持たない室内オーケストラ”という当団の特色を活かしつつ、これからも様々なジャンルへ挑戦し、さらなる音楽性の向上に努めるとともに、地域の新人音楽家との共演機会を設けるなど、新人音楽家の育成も行なっていきたいと考えています。



▲第27回大村定期演奏会

（「平成31・令和元年度芸術文化振興基金・文化芸術振興費補助金助成事業事例集」より抜粋）

研修便り

独立行政法人日本芸術文化振興会では、伝統芸能の次代の担い手を養成するため、歌舞伎、文楽、能楽、大衆芸能、組踊の各分野で研修を行っています。

〔連載〕 研修インタビュー

「研修便り」では、舞台上で活躍中の研修修了者や研修講師の方々をご紹介します。

第5回 かがみ ことき 鏡味小時（太神楽曲芸師 第7期大衆芸能（太神楽）研修修了）

Q. 研修生になろうと思ったきっかけをお話してください。

A. 研修見学会に行って、初めて太神楽を見学・体験させていただきました。道具に触らせていただいたりして、とても楽しく、師匠も優しくかったので、「この道に進もう！」と決意しました。

Q. 研修生活はいかがでしたか？

A. 太神楽は腰や首に負担がかかる動きが多く、これまで生きてきてあまり使ったことのなかった部分を使います。最初のうちは、ただただ身体を回復させることに必死でした。ですが、半年くらい経つと、筋肉がついて身体が適応してきて、稽古や自習がどんどん捗るようになりました。

Q. 研修では太神楽のほか、寄席囃子、長唄、鳴物、日本舞踊なども教わりますね。

A. 寄席囃子や鳴物は、修了してからも寄席で使いますので、非常に役に立っています。舞踊では身体的基础を作ることができました。身体的基础ができていれば、獅子舞で役に立ちます。修了してからも踊りの稽古を続けている先輩もいらっしゃいます。

Q. 太神楽曲芸師になって、一番よかったことは何ですか？

A. 国内外の様々な土地に行けることです。いろいろなものに触れることができるのは、とてもありがたいです。特に、全国各地の小・中学校を訪問して行う学校寄席は土地ごとの空気の違いがよく表れて、その違いに触れることが嬉しいし楽しいです。学校寄席では、生徒さんに太神楽の体験をしてもらうことが多いのですが、生徒さんが人生で初めて着物を着る瞬間に立ち会ったりして、行くたびに新鮮な気持ちになります。



Q. 研修生を目指す人にメッセージをお願いします。

A. 太神楽は、神様への奉納といった神事芸能として発達し、次第に娯楽色が強くなっていったもので、分かりやすく、楽しく、面白い芸能です。また、努力すれば必ず評価してもらえる仕事です。太神楽を見て面白いと思ったら、是非その気持ちを忘れないで、一緒に太神楽をやしましょう！

インタビューの全文はHPから！

URL=<https://www.ntj.jac.go.jp/topics/kokuritsu/2021/2264.html>

●研修生募集●

令和4年度は歌舞伎俳優、歌舞伎音楽（竹本・鳴物・長唄）、大衆芸能（太神楽）の研修生を募集しています。詳細はp.19に掲載。

インフォメーション

年末年始のチケットのお取り扱いについて

年末年始におけるチケット販売について、下記の期間は休業となります。

国立劇場チケットセンター休業期間

《電話予約》 12月29日(水)～1月1日(土)

《各会場チケット売場》

国立劇場 12月29日(水)～1月2日(日)

国立演芸場 12月24日(金)～1月1日(土)

国立能楽堂 12月29日(水)～1月3日(月)

国立文楽劇場 12月29日(水)～1月2日(日)

※インターネット販売は、12月28日(火) 23:00～29日(水) 8:00まで臨時メンテナンスを実施するため、販売を停止いたします。12月29日(水) 8:00以降は平常通りご利用いただけます。

国立劇場おきなわチケットカウンター休業期間

窓口・電話予約 12月29日(水)～1月3日(月)

※インターネット販売は通常通りご利用いただけます。

新国立劇場ボックスオフィス営業

窓口・電話は時間を短縮して営業いたします。詳細はウェブサイトでご確認ください。

※インターネット販売は通常通りご利用いただけます。

国立劇場の再整備に係る整備計画について

令和5年(2023年)11月以降の施設使用につきましては、国立劇場再整備等事業のため、休館いたします。

国立劇場(大劇場・小劇場・国立演芸場・各種古室)は、ご使用いただけません。

国立劇場の再整備に係る整備計画については、振興会ホームページをご覧ください。

皆様には大変ご不便をお掛けいたしますが、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

令和5年度国立劇場施設使用お申込みのご案内

令和5年(2023年)4月～10月の大劇場・小劇場施設使用予約のお申込みを下記のとおり受付いたします。

【受付期間】 令和3年(2021年)12月1日(水)～

12月20日(月)

平日 10:00～17:00

※予約申込書は、上記の受付期間中に施設利用室にて受け取るか、ホームページよりダウンロードしてください。

【問合せ先】 国立劇場営業部劇場課施設利用室

☎ 03-3265-6793

大衆芸能(太神楽)研修生募集

独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)では、令和4年4月開講の第8期大衆芸能(太神楽)研修生を募集しています。

応募資格

中学校卒業(卒業見込みを含む)以上で、原則として年齢23歳以下の者。経験は問いません。

募集期間

令和4年1月31日(月)まで

選考方法

作文、簡単な実技試験、面接

選考日

令和4年2月から3月上旬を予定(日程が決まり次第、応募者へお知らせします)

選考場所

国立劇場(東京都千代田区隼町4-1)

研修期間

令和4年4月から令和7年3月までの3年間

研修場所

国立劇場ほか

※募集の詳細は劇場ロビー内のチラシや養成事業のホームページをご覧ください。

※歌舞伎俳優・歌舞伎音楽(竹本・鳴物・長唄)研修生も募集しています。

<https://www.ntj.jac.go.jp/training/trainee.html>



問合せ先

国立劇場調査養成部養成課

☎03-3265-7105

(平日10:00～18:00)

国立劇場養成課 SNS開設

国立劇場養成課では、研修生募集にあたり、研修制度をより広く知っていただくためにTwitter、Instagram、TikTokを開設しました。毎日の研修のこと、研修生の様子、募集情報などを投稿します。ぜひフォローしてください。



Twitter



Instagram



TikTok

お正月の国立劇場各館のご案内

◆国立劇場大劇場

初春歌舞伎公演は、3日に幕を開けます。劇場には口上看板や積み樽、大風などを飾ります。7日までは開演前に舞台上で獅子舞を披露し、皆様をお迎えいたします。新型コロナウイルス感染症予防の観点から、初日の鏡開き、樽酒のお振る舞いは、中止いたします。

なお公演期間中、プログラムをご購入の方に抽選で手ぬぐいを進呈します。皆様のご来場をお待ちしております。

◆国立演芸場

2～7日の新春国立名人会は、正面に繭玉と積み樽を飾って皆様をお迎えします。初笑いはずい国立演芸場へお出かけください。

◆国立能楽堂

年明け最初の公演は5日の定例公演で、ロビーに鏡餅を飾り、舞台に注連縄をはり、能「松尾」狂言「筑紫奥」で新年を寿ぎます。

◆国立文楽劇場

初春文楽公演は、3日に初日を迎えます。3日から7日まで、抽選による手ぬぐいプレゼントがございます。場内には上方特有の「にらみ鯛」などを飾り、大阪らしい初芝居の雰囲気の皆様をお迎えいたします。

◆国立劇場おきなわ

年明け最初の自主公演は15日の琉球舞踊公演「琉球舞踊特選会」です。休憩中のお年玉抽選会などもお楽しみいただけます。

◆新国立劇場

今回の『くるみ割り人形』は年末年始に上演時期を拡大し、新年元日、2日、3日も上演いたします。新国立劇場バレエ団の魅力存分に楽しめる華やかな本作を、年越し・新年の特別なイベントとして、ぜひご堪能ください。

※各館の公演詳細はホームページにてご確認ください。

2022年版カレンダー販売中

各劇場ロビー内売店にて2022年版カレンダーを販売しています。ご来場の記念にぜひお求めください。

劇場名	価格（消費税込み）	お問い合わせ
国立劇場	1,300 円	(株)文化堂 03-3239-2417
国立演芸場	1,000 円	(株)文化堂 03-3239-2417
国立能楽堂	壁掛型 1,300 円	営業課 03-3423-1331（代）
国立文楽劇場	壁掛型 1,300 円、卓上型 800 円	(有)文楽せんべい本舗 06-6752-6356（直）
国立劇場おきなわ	800 円	事業課 098-871-3311（直）
新国立劇場	1,600 円	新国立劇場 03-5351-3011（代）

やんばる アートフェスティバル 2021-2022

沖縄県本島北部地域（通称：やんばる）を舞台とした地域芸術祭。国内外の現代アーティストの作品展示と、県内作家を中心とした陶芸・ガラス・木工などの展示販売を軸に、「やんばる」の魅力を世界へ発信します。

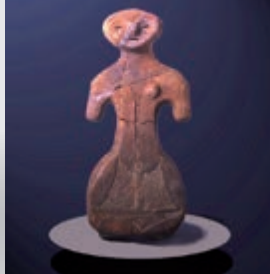
■沖縄県本島北部地域 ▶ 令和3年12月18日～令和4年1月16日



琉球王朝の美

組踊や琉球舞踊などの沖縄伝統芸能の公演を実施するとともに、琉球王朝時代に首里城の御庭で披露された「からくり仕掛け花火」を復元し、実演します。

■国立劇場おきなわ ▶ 令和3年10月12日、10月23日、11月27日、令和4年1月15日・16日、1月22日、2月12日、2月26日・27日、3月12日
■高山県教育文化会館 ▶ 令和3年3月20日



多摩ニュータウンのビーナス（土偶） 東京都教育委員会蔵

縄文2021 —東京に生きた縄文人—

「東京に生きた縄文人」をテーマに、自然と調和した当時の生活空間の再現や、出土品の解説を通じて、大自然の多様性を尊重し畏怖してきた縄文人の“心”を再発見する展覧会です。

■東京都江戸東京博物館 ▶ 令和3年10月9日～12月5日

海幸山幸 —祈りと恵みの風景—

海と山に囲まれ、その恵みを得て育まれてきた歴史や文化を持つ日本。特別展「海幸山幸」では、木喰作「阿弥陀如来坐像」および、山元春華筆「昭度主基風俗歌屏風（福岡）」を特別公開します。

■九州国立博物館 ▶ 令和3年10月9日～12月5日



昭和度主基地方風俗歌屏風（右隻） 宮内庁三の丸尚蔵館蔵

庵野秀明展

最新作「シン・エヴァンゲリオン劇場版」が大ヒットとなった庵野秀明。アニメーター時代に参加した過去作品や、監督、プロデューサーとして活躍する最新の仕事までを網羅し、創作活動の秘密に迫ります。

■国立新美術館 ▶ 令和3年10月1日～12月19日



「エヴァンゲリオン新劇場版：破」2009年公開 ©カウ

工芸ダイニング2021 —工芸と食—

工芸作家の作品を実際に「使って楽しむ」こと、和食を「食べて楽しむ」ことを体現する催しです。鑑賞するだけではなくることができる工芸の持つ“用”の美しさを、食事会を通じて感じていただきます。

■熱海会場：MOA美術館 ▶ 令和3年11月21日～25日
■福岡会場：料亭 嵯峨野 ▶ 令和4年2月5日



日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル

「日本人と自然」を障害者の視点を通じて国内外に発信する文化芸術フェスティバルです。2020年から全国7か所、展覧会・舞台芸術など様々な分野の文化・アートを発信します。

■東北ブロック：岩手県 ▶ 令和3年10月・12月 ■関東・甲信ブロック：埼玉県・山梨県 ▶ 令和3年10月・12月 ■近畿ブロック＆グランドフィナーレ：滋賀県 ▶ 令和4年2～3月



「日本の美」を体感する 多様な展覧会・公演・芸術祭を 全国で開催中



KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2021

世界屈指の文化都市・京都を舞台に開催される国際的な写真祭です。国内外の気鋭の写真家による作品展示を中心に、子供から大人、アマチュアからプロまでを対象としたさまざまな教育プログラムを開催します。

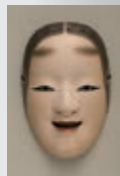
■京都市内約10か所（京都文化博物館 別館、二条城、両足院、崇田屋源兵衛 竹院の間、黒蔵、他） ▶ 令和3年9月18日～10月17日

©Erwin Olaf

体感！日本の伝統芸能 —歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊の世界—

ユネスコ無形文化遺産に登録された日本の5つの伝統芸能「歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊」を一堂に集め、それぞれの芸能が持つ固有の美とそれを支える「わざ」を紹介し、

■東京国立博物館 表座敷 ▶ 令和4年1月上旬～3月下旬



企画展「日本の生物多様性の解明と保全」(仮称)

日本の絶滅危惧種や絶滅種を中心とする多種多様な動植物について、標本や図譜、4K映像、プロジェクションマッピングなどを組み合わせ展示することにより、過去・現在・未来を概観しながら、そのかけがえのなさや重要性を伝えます。

■国立科学博物館 ▶ 令和3年12月14日～令和4年2月27日



絶滅種ニホンカワウソの剥製 国立科学博物館蔵

本城直季 (un)real utopia

現実の風景でありながらどこかジオラマのようなイメージを想起させる写真を撮ることで知られる本城直季。この大規模個展では、全国5会場を巡回し、各地で撮り下ろした作品も展示します。

■岩手県立美術館 ▶ 令和3年10月16日～11月28日
■東京都写真美術館 ▶ 令和4年3月19日～5月15日



small planet/Tokyo, Japan/ 2005 ©Naoki Honjo

“Edible Art”

～田んぼアート米を活用した6次化製品開発と田んぼをキャンバスに描かれる壮大なアートの魅力国内外発信プロジェクト～

世界最大の田んぼアートを制作している埼玉県行田市にて、「歌舞伎『菅原伝授手習鑑』～車引一梅王丸』と葛飾北斎「神奈川沖浪裏」を組み合わせた田んぼアートを作成し日本の魅力を国内外に伝えます。

■埼玉県行田市 ▶ 田んぼアートの観覧 令和3年7月中旬～11月中旬



※日本博各事業については、この度の新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、中止・延期等の可能性がありますので、各事業の詳細については、公式サイト等で最新情報の確認をお願いいたします。

日本博は、「日本人と自然」をテーマに展開する、文化芸術の祭典です。この貴重な機会に、日本の芸術や文化をぜひお楽しみください。動画、VR、画像などの充実したコンテンツを公開中の「バーチャル日本博」や各事業の詳しい情報は日本博 WEB サイトから。リアルな感動を、バーチャル空間でも。

japanculturalexpo.bunka.go.jp 日本博公式アカウント



人形浄瑠璃



12月4日(土)ー17日(金)

※9日(土)は休演

午後2時・午後5時開演

字幕表示が「はい」です

仮名手本忠臣蔵

か な で ほん ちゅう しん ぐら

国立劇場開場55周年記念
令和3年12月文楽公演

桃井館本蔵松切の段
下馬先進物の段
殿中刃傷の段
塩谷判官切腹の段
城明渡しの段
道行旅路の嫁入

■ご観劇料〔税込〕※学生・障害者の方は割引あり
〔1等席〕6,500円 〔2等席〕5,500円

好評販売中

【電話】国立劇場チケットセンター〔午前10時～午後6時〕

0570(07)9900/03(3230)3000(一部IP電話等)

【インターネット】国立劇場チケットセンター

主催＝独立行政法人日本芸術文化振興会

！ 新型コロナウイルス感染予防の対策に、ご理解とご協力をお願いいたします。詳細はホームページをご覧ください。

『仮名手本忠臣蔵』城明渡しの段 撮影＝二階堂 健

公演日程	12月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
2:00	—	—	●	●	●	—	休演	—	—	●	●	●	—	—	—
5:00	●	●	●	—	—	●	●	●	—	—	—	—	●	●	●

上演時間＝約3時間(休憩を含む)

東京・半蔵門



国立劇場

小劇場

東京都千代田区隼町4-1
03-3265-7411(代表)
<https://www.ntj.jac.go.jp/>

National Theatre - Tokyo Presents
BUNRAKU Performance
December 4-17, 2021

Kanadehon Chushingura

Tickets Now on Sale
Box Office 0570-07-9900(10:00-18:00)
https://ticket.ntj.jac.go.jp/top_e.html



JAPAN
CULTURAL
EXPO

beyond
2020

12月号 日本芸術文化振興会二ニュース (月刊)

令和3年12月1日発行 通巻641号(昭和43年5月1日創刊)
発行 独立行政法人 日本芸術文化振興会 〒100-2186 東京都千代田区隼町4-1
印刷 株式会社丸井工芸社

03-3265-7411 (代表)